

# 神の創造

## 一人の存在の奥義を開く

「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう」

(創世記第1章26節前半)



神は何のために人を創造されたのでしょうか。人は何のために生まれ、何のために存在しているのでしょうか。これを知るためには、神の言である聖書が助けとなります。神には計画があり、この計画は聖書の中で「神のエコノミー」と呼ばれています。神のエコノミーとは、人に対する神の計画全体のことです。神が人を創造された目的、言い換えれば、人として生まれ、存在する意義、生きることと人生の目的、さらには人の究極のゴールについても明確に解き明かします。神のエコノミーが開かれてこそ、人生の意義を知ることができ、満足のある新しい人生を始めることができます。

人の創造は、他の被造物の創造と同じではありません。神は人をご自身のかたちに造られました。手袋は手のかたちに作られます。目的は手を入れるためです。同じように、人が神のかたちに造られたのは、神を入れるためです。ですから、聖書は人を「器」と言っています。あなたは神に用いられる道具ではなく、神を入れる器です。神はあなたの内容とならなければなりません。財産、物質的な享受、知識や学問、芸術やスポーツ、いかなる達成や成功であっても、神以外のものはあなたを満足させることができません。あなたが造られたのは神を入れるためだからです。

神の器である人を聖書は「霊、魂、体」の三つの部分に分けています。霊は人の最も深く重要な部分であり、霊である神に接触し、神を受け入れ、神を保持するための器官です。しかし、人は罪を犯して墮落し、人の霊は死んで機能できなくなりました。体や魂に問題があれば、医者や精神科医にかかることができますが、人の霊の問題は神だけが解決することができます。

そこで、神は肉体と成り、人として地上に来られました。この方が主イエス・キリストです。彼は一方で人の救い主であり、もう一方では人に対して神のエコノミーを遂行し、達成するキリストです。彼は「十字架」につけられて人のすべての罪を取り除き、三日目に復活して「命を与える霊」と成られました。神のエコノミーは、神がキリストにあって命を与える霊と成り、人の霊の中に入って人の霊を生かし、人の内容またすべてとなり、こうして神が人の完全な満足となることです。これこそあなたが人として生まれ、人として存在している意義です。あなたが造られたのは、飲食して食物を胃の中に入れるためではありません。学問して知識を頭の中に入れるためでもありません。主イエスを信じて、神をあなたの霊の中に入れるためです。